

平成30年度 第2回 桜井市地域公共交通活性化再生協議会 次第

日時：平成31年1月30日（水） 午後1時から

場所：桜井市役所 2階 大会議室

1. 開 会

2. 挨拶 会長 笹谷 清治

3. 議 事

1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について
（資料1～資料2）

2. 今後の市公共交通再編について
（資料3～資料11）

資料1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 桜井市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (多武峯線) 運行区間: 桜井駅南口～談山 神社 運行区間: 平成29年10月～平 成30年9月	【前回の事業評価結果】 ＜多武峯線＞ 観光客の増加による利用者数の増加 が一時的なものにならないよう、この キャンペーンによる談山神社の知名度 向上をきっかけとした観光と連携した利 用啓発の取組みを検討する。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B	目標値である7.3名/便に対し て、実績は6.0名/便であった。 利用者が急増する紅葉シーズ ンにおける災害による通行止 め・小型車両での運行が影響 していると考えられる。
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (初瀬・朝倉台線) 運行区間: 桜井駅北口～吉隠 柳口 運行期間: 平成29年10月～平 成30年9月	＜初瀬・朝倉台線＞ ダイヤ改正により乗継が易くなったこと の地域住民への周知を徹底するととも に、現在の形以上に利便性の高いダイ ヤや路線の仕組みの検討を行う。 目標を達成した路線については、ニー ズに合致した部分を分析し、さらなる需 要の掘り起こしを図る。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B	目標値である4.4名/便に対し て、実績は3.2名/便であつ た。目標には届かなかった ものの、前回の事業評価に おける実績3.0名/便より増 加している。
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (南循環線) 運行区間: 桜井駅南口～済生 会中和病院 運行期間: 平成29年10月～平 成30年9月	【反映点】 ・平成30年3月に桜井駅に多言語案内 看板を設置・あわせてバスの路線・バ ス停ナンバリングを行い、市外から来 訪する観光客やインバウンドがバスを 利用しやすい環境を整備した。 ・より利便性が高く効率的な路線の仕 組みについて、協議会で検討を行っ た。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A	目標値4.0名/便に対し、実 績は6.0名/便であり、目標 値を達成できた。
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (西北部循環線) 運行区間: 桜井駅南口～済生 会中和病院 運行期間: 平成29年10月～平 成30年9月	・西北部循環線においては、平成29年 12月に、住民の要望を受け、「大豆越」 バス停をより利便性の高い場所へ移動 した。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A	目標値4.0名/便に対し、実 績は6.3名/便であり、目標 値を達成できた。
日の丸交通株式会社	系統名: 桜井市デマンド型乗合 タクシー 運行区間: 上之郷地域～済生 会中和病院 運行期間: 平成29年10月～平 成30年9月	【前回の事業評価結果】 更なる利便性の向上の為、ダイヤ等 を利用者と協議しながら運営する。 【反映点】 上之郷診療所の廃止に伴い、住民の 意見等を踏まえ、平成30年8月に運行 日・運行時刻・乗降地の追加を実施。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A	利用者数1,996人で、事業 開始当初(H22年度:1,793 人)と比較すると高い利用 率を保っており、一定の需 要を満たしていると考えら れる。

目標を達成できなかった2路線
については、以下のような改善
を考える。
＜多武峯線＞
引き続き、観光と連携した利
用啓発の取組を行う。
＜初瀬・朝倉台線＞
引き続き、ダイヤ改正により
乗継が易くなったことの地域
住民への周知を行うとともに、
現在の形以上に利便性の高い
ダイヤや路線の仕組みの検討
を行う。
また、長谷寺への観光客に利
用してもらうため、観光と連携
した利用啓発の取組を検討す
る。

目標を達成した路線について
は、ニーズに合致した部分を分
析し、さらなる需要の掘り起こ
しを図る。

一定の評価は得られているの
で、更なる利便性の向上の為、
ダイヤ等を利用者と協議しな
がら運営する。

桜井市地域公共交通活性化再生協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

【市の概要】

人口：57,397 人（平成 30 年 11 月末）、面積：98.91 平方キロメートル、高齢化率：30.5%（平成 30 年 11 月末）※人口は 2000 年の 63,112 人をピークに減少し続けている。20 代・30 代の若者の市外への転出が人口減少の主な要因。

【公共交通の将来像】

- ◎交通空白地や交通不便地がなく、ニーズに応じた多様な手段で市民の移動が公共交通等により確保されている
- ◎生活路線としてだけでなく、来訪者の観光路線としても利用され、来訪者と地域住民の交流が生まれている
- ◎住民・企業参加の仕組みと持続可能な運行システムが確立されている

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添で添付して下さい。

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

【評価の考え方】

持続可能な運行に向けて、ニーズが最も色濃く反映される「一便あたりの利用者数」を指標として設定し、運行実績を評価・分析。次年度の運行計画に反映する。

【各路線の評価指標】

初瀬・朝倉台線 4.4 人/便、循環路線 4.0 人/便、多武峯線 7.3 人/便、上之郷デマンドタクシー 5.7 人/便、高家デマンドタクシー 2.9 人/便（平成 25 年度の実績値と、住民アンケート等より試算した交通潜在需要等より算出）

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

- ◎「交通空白地や交通不便地がなく、ニーズに応じた多様な手段で市民の移動が公共交通等により確保されている」達成のために
- ・平成 27 年 6 月 公共交通再編（コミバス路線の再編、新規路線開設、高家デマンドタクシーの運行開始。これにより交通不便地解消）→・平成 29 年 6 月 公共交通再編（2 年間の実証運行結果を踏まえ、利用者が少ない路線を統廃合、ダイヤを改正）
- ◎「生活路線としてだけでなく、来訪者の観光路線としても利用され、来訪者と地域住民の交流が生まれている」達成のために
- ・多言語案内看板の設置、コミュニティバス路線・バス停のナンバリング（H30.3）

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
桜井市コミュニティバス	桜井市・奈良交通	平成 17 年度～	フ	三路線運行・奈良交通に業務委託
上之郷デマンドタクシー	桜井市・日の丸交通	平成 22 年度～	フ	市東部の山間部・上之郷地域限定で運行、日の丸交通に業務委託

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
再策：再編計画策定事業、再推：再編計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
奈良交通路線バス	奈良交通		奈良交通独自で運行。3 路線。経費のうち県と国の補助金と運賃収入を除いた赤字分を関係市村で負担している。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
高家デマンドタクシー	桜井市・日の丸交通	平成 27 年度～	市南西部の山間部・高家地域限定で運行、日の丸交通に業務委託
コミュニティバス利用環境整備事業	桜井市	平成 29 年度	桜井駅に多言語案内看板を設置し、あわせてコミュニティバスの路線・バス停ナンバリングを実施。市外から来訪する観光客やインバウンドがバスを利用しやすい環境整備を行った。

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
利用促進の取組	コミュニティバス等の沿線にある公共施設や買い物施設等でもパンフレットの配布を実施。また、地域のイベント等において、チラシの配布や啓発を行い、利用状況や意識調査を実施した。	初瀬・朝倉台線 4.4 人/便、循環 路線 4.0 人/便、 多武峯線 7.3 人、上之郷デマ ンドタクシー 5.7 人/便、高家 デマンドタクシ ー2.9 人/便

4. 具体的取組に対する評価

多武峯線…目標値 7.3 名/便、実績 6.0 名/便

(前回の実績値は 7.1 名/便、前々回の実績値は 5.4 名/便)

観光利用が大幅に増える 10 月、11 月での、災害による路線短縮運行・小型車両での運行が影響していると考えられる。

平成 29 年春から夏にかけて、J R 東海のキャンペーンによる談山神社への観光客が大幅に増加したため、前回よりも実績値は減少しているが、前々回よりも増加している。

循環路線…目標値 4.0 名/便、実績 6.0 名/便 (南循環)、6.3 名/便 (西北部循環)

目標値を達成。

初瀬・朝倉台線…目標値 4.4 名/便、実績 3.2 名

前回実績 3.0 名/便より増加。

上之郷デマンドタクシー…目標値 5.7 名/便、実績 3.4 名/便

利用者数は 1,996 人 (事業開始の H22 年度 : 1,793 人)

一定の評価は得られていると考えられる。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
多武峯線：観光路線としての強化 前回の実績より、観光資源としての談山神社の持つ誘客力が把握できた。紅葉シーズンの災害により、実績値が伸び悩んだ。	・談山神社・さらに沿線の聖林寺への観光と連携した利用啓発の取組みを引き続き検討。 ・また、紅葉シーズン以外の季節における観光利用啓発の取組を検討。
初瀬・朝倉台線：住民への利用啓発・更なる利便性の向上・観光利用の強化 ダイヤ改正により通院乗継の利便性が向上したことが住民に十分浸透していない 多武峯線の実績をふまえ、観光路線としての利用振興の可能性	・引き続いて住民に対する病院への乗継についての周知を徹底 ・現在以上に利便性の高いダイヤの仕組みや路線の検討 ・長谷寺への観光客に利用してもらうため、観光と連携した利用啓発の取組を検討

桜井市地域公共交通活性化再生協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
サービス内容の検討の際には、運行結果の分析に加えて、膝詰めでのインタビューやワークショップを実施することにより、潜在需要の把握・住民等の参加意識の醸成等に繋げることが考えられる。	H29 年 10 月に、公共交通の利用啓発キャンペーンとして地域のイベントにおいて、啓発を行い、利用状況や意識調査を実施した。	H30 年 10 月に、公共交通の利用啓発のため、地域のイベントにおいてチラシを配布し、地域の住民との対話を行った。今後もこういった取組みについても広げていきたい。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

平成 26 年度に策定した第 2 次桜井市地域公共交通総合連携計画のもと、交通空白地の解消や、より利便性の高い公共交通のネットワーク実現に向けて P D C A のサイクルを実施できている（平成 27 年 6 月に大規模なコミュニティバスのルート・ダイヤ再編を行い、2 年間の実証運行の実績結果を受けて平成 29 年 6 月に新たに路線を再編した）。今後もこのサイクルを繰り返し、公共交通の将来像実現に取り組んでいきたい。

また、生活交通としてのみならず、観光需要を掘り起こし、利用者を増やしていくことを目的に、交通結節点である桜井駅において、鉄道利用者がスムーズにバスを乗り継ぐことができる環境を整備するため、各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板を設置し、あわせてコミュニティバスの路線・バス停ナンバリングを行った。市としてもインバウンド施策を実施している中で、インバウンドを含む市外からの観光客に、移動手段の選択肢としてバスを提示できる。今後は路線・バス停ナンバリングを活用したマップ作成等の取組などを展開し、さらなる公共交通の利用促進・確保維持に努める。

平成 31 年 10 月からの路線再編について

I. 経緯

桜井市では、公共交通空白地域の解消や生活交通の確保を目的として、現在コミュニティバスが 3 路線（初瀬・朝倉台線、循環路線、多武峯線）と、上之郷地域及び高家地域においてデマンド型乗合タクシーを運行していますが、運行経費が年々増加する一方、利用者数は全体的に減少傾向にある中で、持続可能な公共交通の実現のため、経費の削減や利用促進に繋がる効果的かつ効率的な方策を見出す必要に迫られています。

その様な中、当市は、昨年 7 月 31 日に国土交通省近畿運輸局との間で、地域公共交通に関する「地域連携サポートプラン」協定を締結しました。

「地域連携サポートプラン」協定とは、市と近畿運輸局とが連携して、当市の公共交通の現状を把握したうえで、意見交換を行って課題を整理し、最終的に近畿運輸局から課題解決のための提案書が交付されるというものです。

協定を締結した後、行政経営課では近畿運輸局との間で会合を重ね、昨年の 8 月 28 日には、市内を走るコミュニティバスの各路線の実情と課題を把握するための現地調査も共同で実施しました。

近畿運輸局からの提案書の交付は今年度末の予定となっていますが、本日の協議会では、現時点で明確になった各路線における課題と、課題を解決するために有効と考えられる手法について、委員の皆さまにお示しをしたいと思います。

II. 路線の課題と提案

初瀬・朝倉台線

① 現在の運行形態と課題

市内の東部を走る路線として、桜井駅から朝倉台を経由して吉隠柳口に至る路線ですが、与喜浦から吉隠柳口間での利用状況が非常に少ないうえに、国道 165 号線沿いに設置されている吉隠及び吉隠柳口のバス停留所は、吉隠の集落から距離が遠く、また国道は日常的に頻繁に車両が通行していることから、高齢の利用者の安全面にも課題があることが認識されています。

また、同路線については、朝倉台の住民より、市役所や済生会中和病院に行く際に、桜井駅で乗り継ぎが必要となることについて、改善してほしい旨の要望（H27.2.27 付）も出ています。

② 課題解決の手法

同路線については、路線の東端を与喜浦止まりとし、吉隠地区には、路線バス廃止に代わる最適な代替手段として、利用者の利便性を損なわないシステムの導入を検討するとともに、同路線と南循環線との統合を図ることが考えられます。

③ 見込まれる効果

路線の東端を与喜浦止まりとすることで、路線短縮による経費の削減効果が見込まれると共に、吉隠地区についても、路線バスに代わる効率的な代替手段を導入することにより、利用者の安全性と利便性も確保できるものと考えられます。

また、同路線と南循環線とを統合することにより、例えば済生会中和病院に行くために、現状では乗り継ぎが必要となっていたものが乗り継ぎなしに行くことが出来るというように、利用者の利便性の向上が図られると共に、1路線に統合することによる、バス事業者の配置車両の減車も可能となることから、これによっても一定の経費の削減が見込まれます。

西北部循環線

① 現在の運行形態と課題

同路線は市内の北西部を循環する路線で、主な利用状況としてはイオン桜井店での買い物を目的としたものが多く、一定の潜在的な需要は今後も見込まれると考えられます。

しかしながら、同路線の走行する区域は、集落が点在しているうえに道路幅員が狭小な箇所も多いことから、非常に複雑な路線構成となっていることに加え、各区域からは、集落に近い地点への停留所の移設要望もあり、利用者の利便性や運行の効率性といった点で課題があります。

② 課題解決の手法

現行のバス車両の見直し（例えば、小型ワンボックスタイプの車両への変更）や、それに伴い、従来のバス停留所を集落近くに移動させることが考えられます。また、同路線については、現行の定時定路線のバス運行からデマンドタクシー制に変更することも考えられます。

※但し、他地域のデマンドタクシーのように、利用者の住居前での乗降

ではなく、各地域に 1 箇所ずつ設置を予定している停留所での乗降となります。

③ 見込まれる効果

車両の小型化によって、かねてから各地域から要望があった、より集落に近い地点への停留所の移設が可能になると共に、予約の手間は発生するものの、従来のバス路線のように、乗降の有無に関わらず長大な区間を運行する必要がなくなることから、利用者の利便性の向上にもつながり、また経費の削減も見込まれます。

近畿運輸局 『地域連携サポートプラン』

■地域連携サポートプランとは

対象自治体の公共交通に関する課題について、近畿運輸局が現地に出向き、意見交換等を通じて自治体に寄り添いながら、一緒になって解決策を考えるものです。

『地域連携サポートプラン』の進め方

自治体との協定締結

…近畿運輸局と自治体との間で「地域連携サポートプラン」協定を締結

課題解決に向けた取組実施

…地域公共交通に関する現状把握、意見交換などを実施

現状把握などを踏まえた課題整理

…自治体と連携しつつ、現状把握、意見交換などを踏まえ課題を整理

ワークショップの開催(運輸局・支局)

…学識経験者など第三者の観点から様々な意見や解決策を聴取

課題解決に関する提案書交付

…近畿運輸局より課題解決に資する提案書を交付

提案書交付自治体

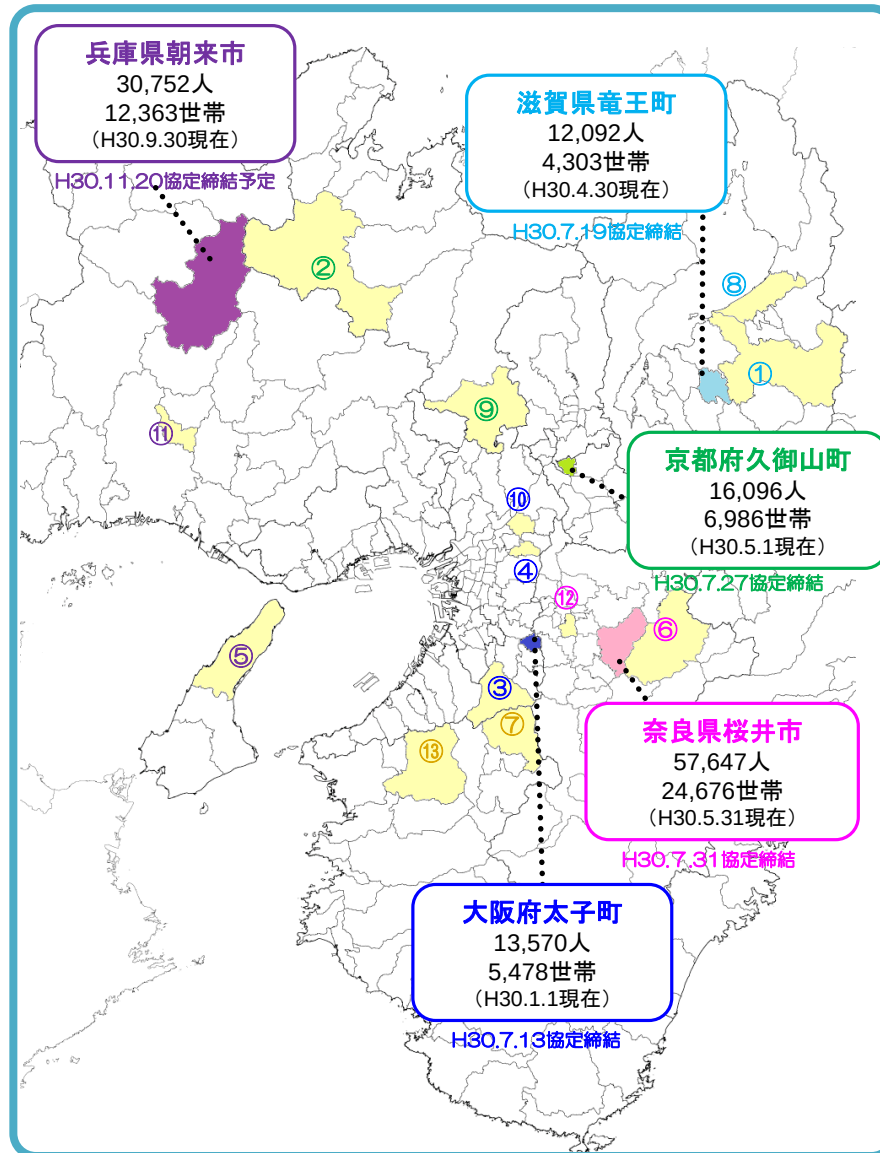
【平成28年度】

- ① 滋賀県 東近江市 (H29.5.24)
- ② 京都府 福知山市 (H29.7.21)
- ③ 大阪府 河内長野市 (H29.5.25)
- ④ 大阪府 大東市 (H29.5.23)
- ⑤ 兵庫県 淡路市 (H29.3.16)
- ⑥ 奈良県 宇陀市 (H29.4.26)
- ⑦ 和歌山県 橋本市 (H29.4.21)

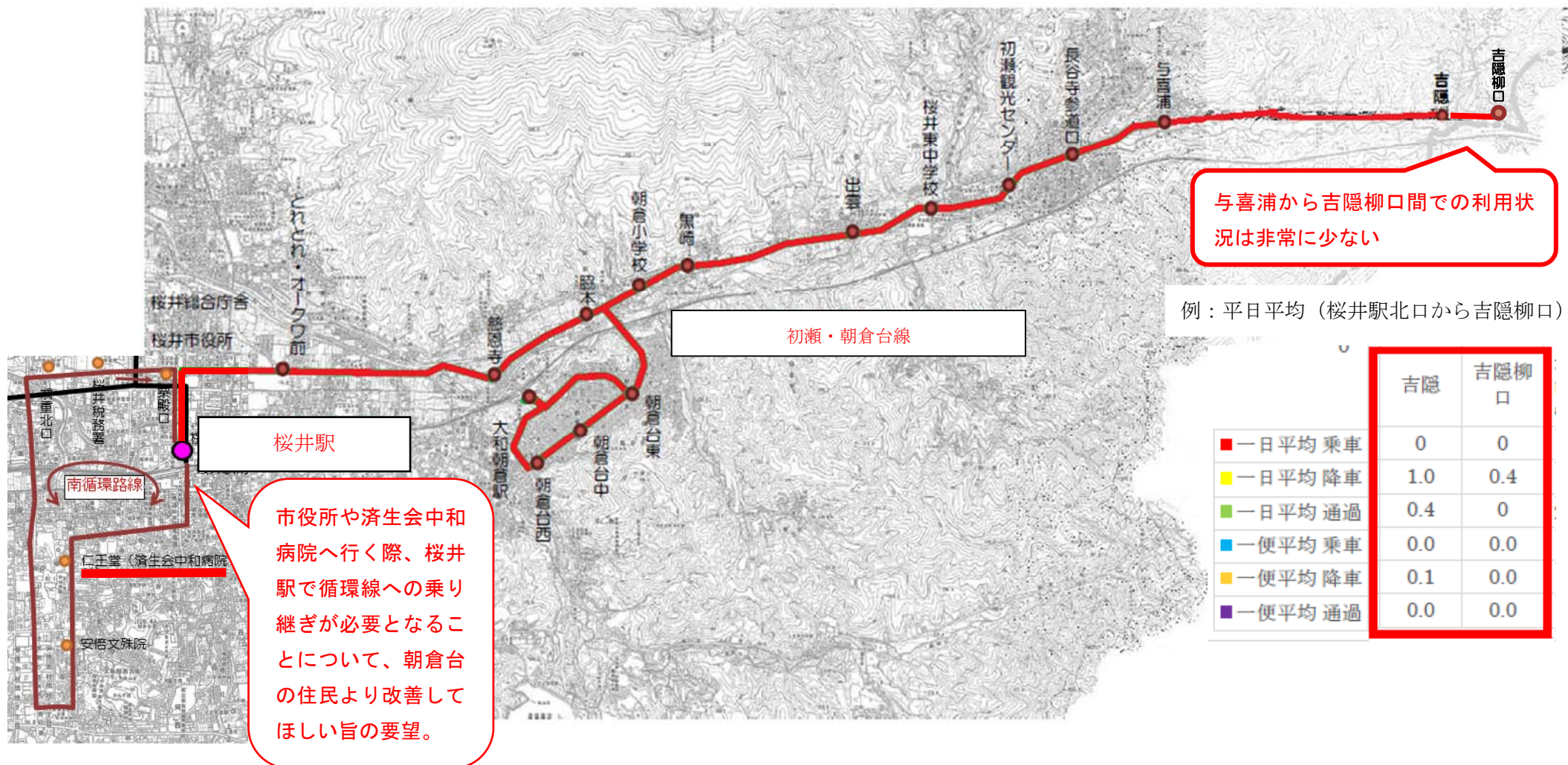
【平成29年度】

- ⑧ 滋賀県 彦根市 (H30.3.15)
- ⑨ 京都府 亀岡市 (H30.3.15)
- ⑩ 大阪府 寝屋川市 (H30.3.28)
- ⑪ 兵庫県 福崎町 (H30.2.23)
- ⑫ 奈良県 広陵町 (H30.3.24)
- ⑬ 和歌山県 紀の川市 (H30.3.15)

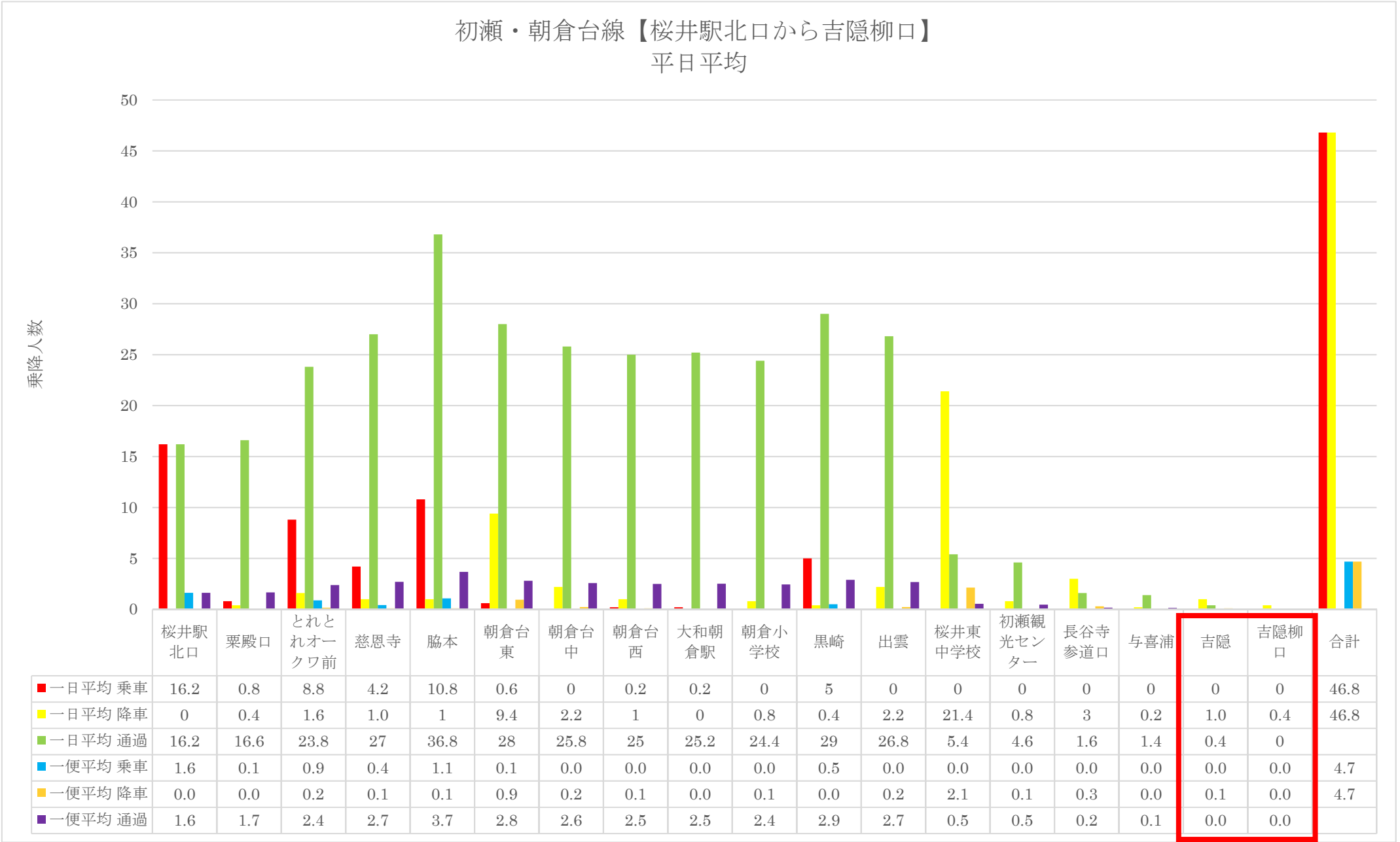
『地域連携サポートプラン』対象自治体



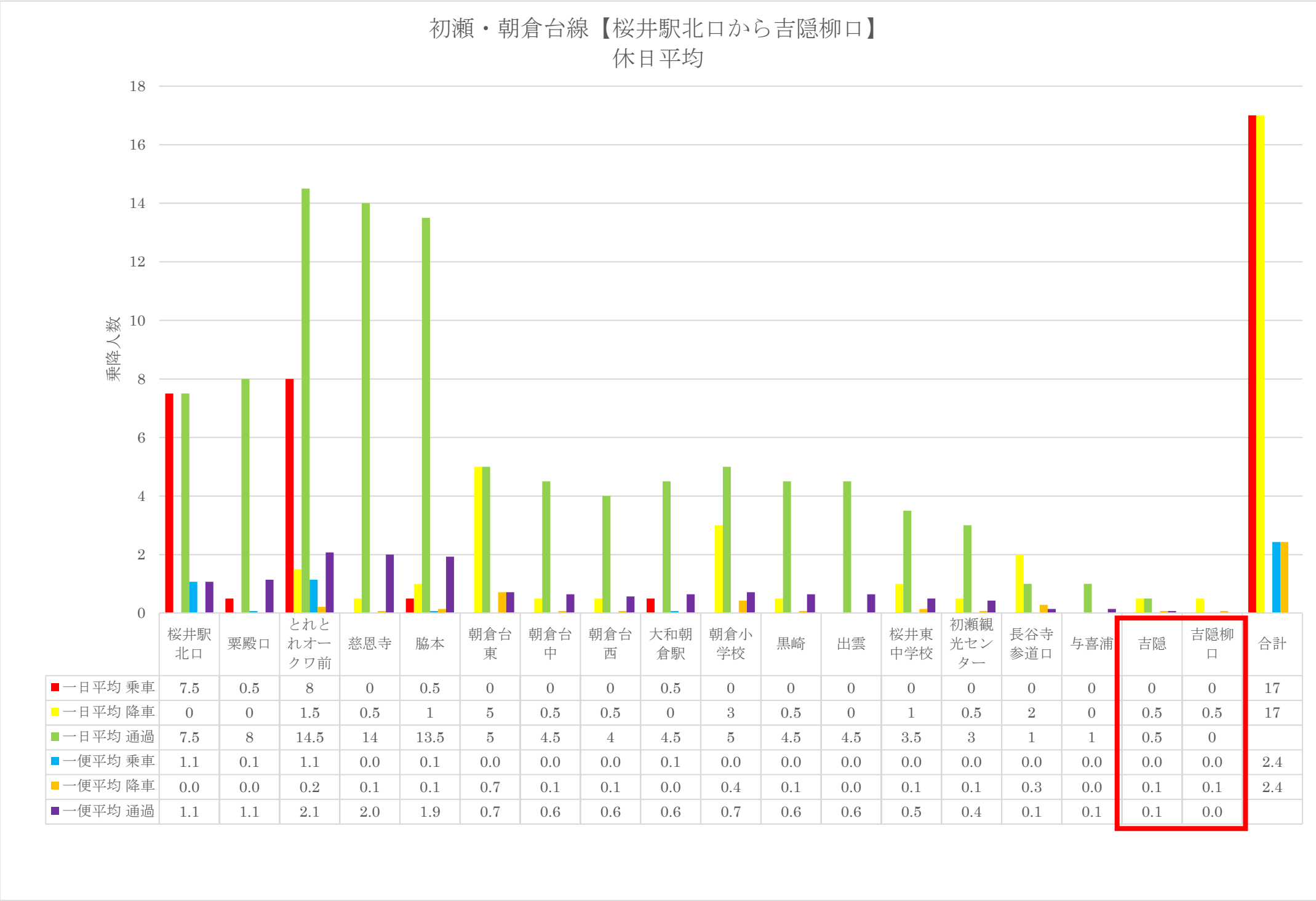
初瀬・朝倉台



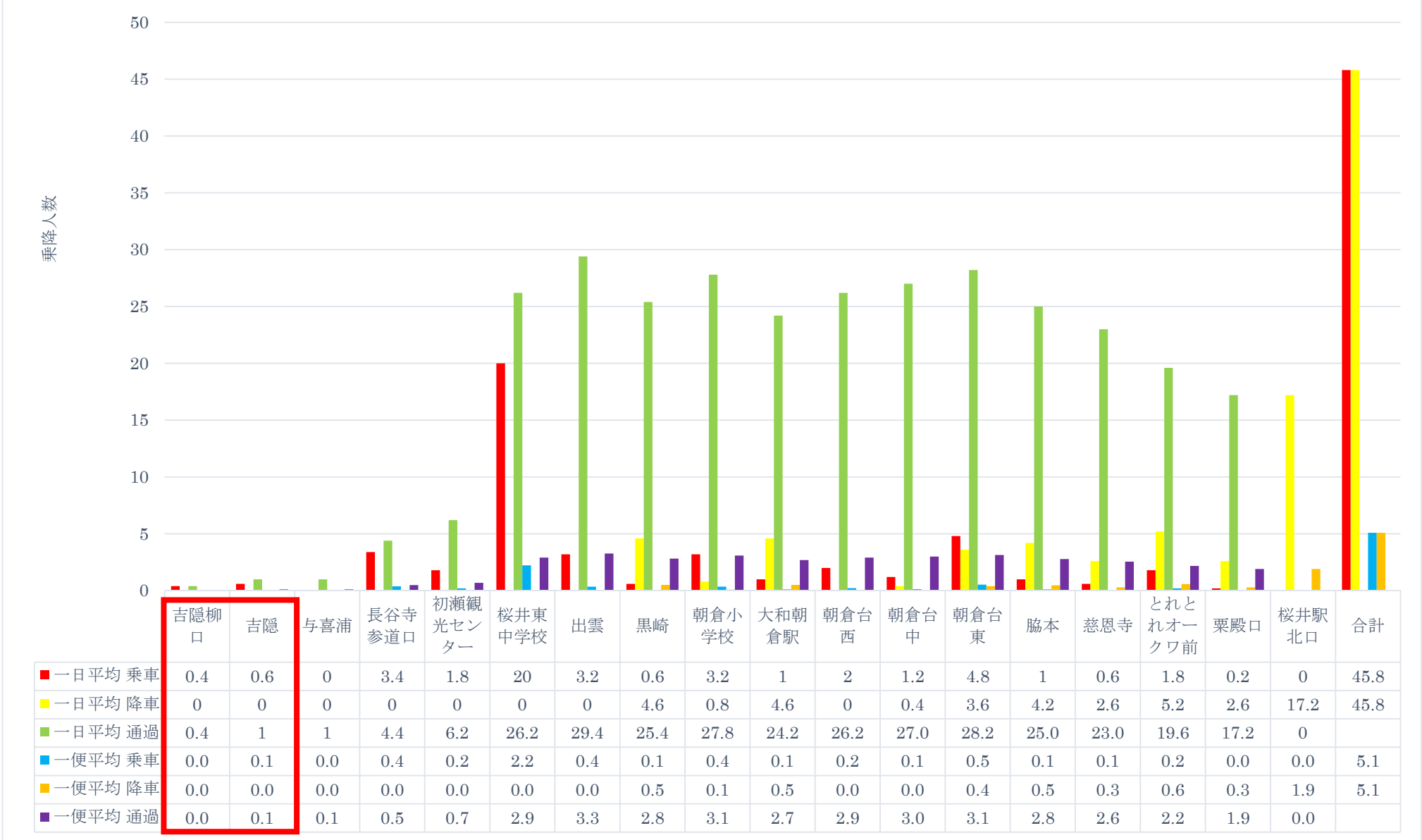
初瀬・朝倉台線【桜井駅北口から吉隠柳口】
平日平均



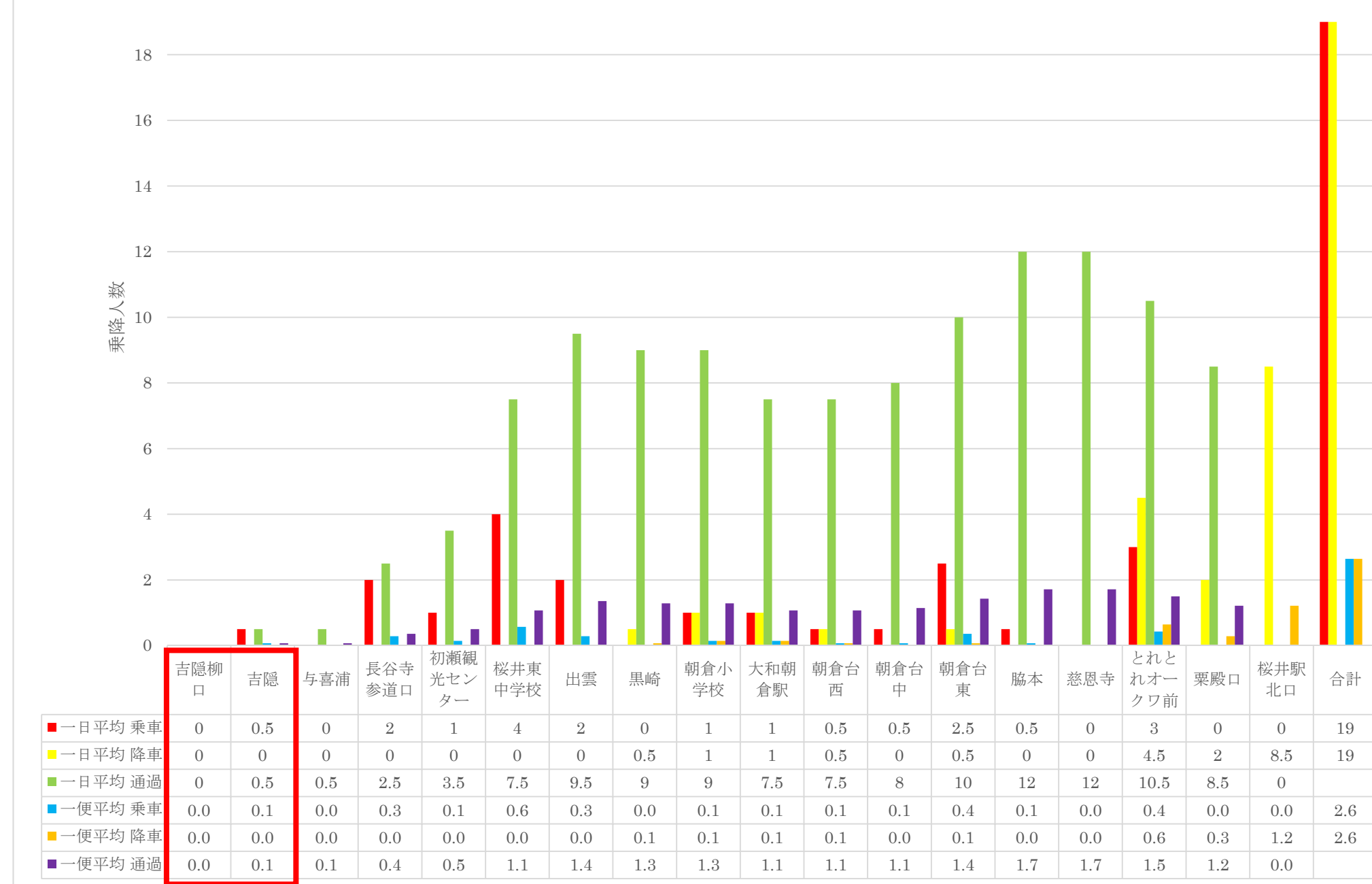
初瀬・朝倉台線【桜井駅北口から吉隠柳口】
休日平均



初瀬・朝倉台線【吉隠柳口から桜井駅北口】
平日平均



初瀬・朝倉台線【吉隠柳口から桜井駅北口】
休日平均

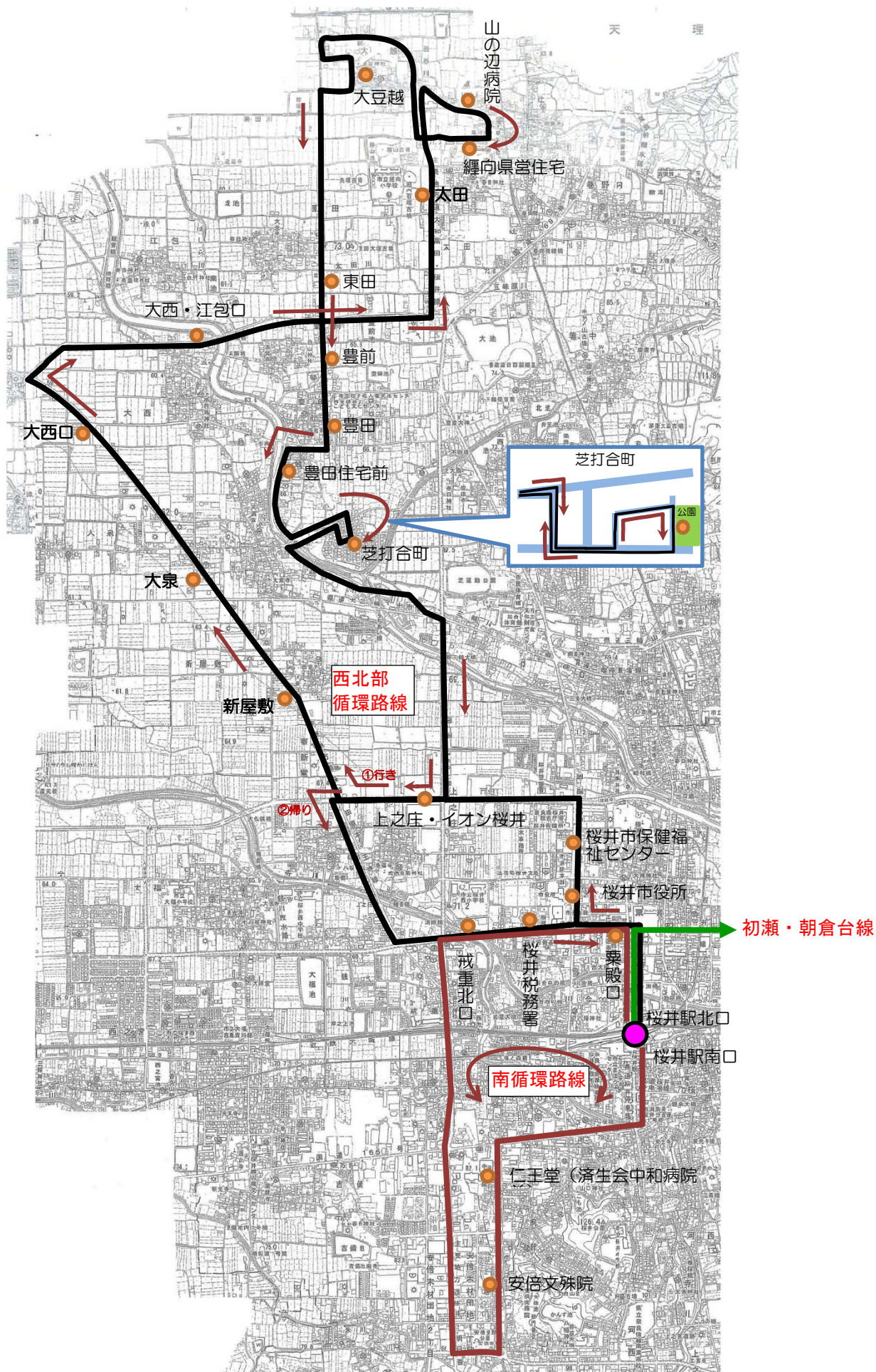


初瀬・朝倉台線 「吉隠」バス停



吉隠の集落から距離が遠いことに加え、集落と国道をつなぐ道路が急勾配となっているため、高齢者にとって負担となっている。

国道 165 号線沿いに設置されており、国道は日常的に頻繁に車両が通行しているため、高齢者の安全面に課題がある。



西北部循環線

1. 大西・江包口



江包の集落から距離が遠い。

また、バス停沿いは、日常的に車両が非常に速度を出して走行する道路であり、危険であるという声が住民から上がっており、課題となっている。

2. 山の辺病院～纏向県営住宅







3. 東田





4. 芝打合町



5. 大豆越





集落とバス運行路線との距離が遠い。
道路が狭隘であるため、集落の中心部まで
バス車両が入ることができない。

平成30年度 桜井市公共交通

